

第2次松本市多文化共生推進プラン施策質問票

●質問・意見

施策番号	3,40 など	具体的施策	キーパーソン
<p>【質問】</p> <p>「プラザ相談員」「民政・児童委員」「日本語ボランティア」「日本語交流員研修受講者（長野県）」「地域日本語教育コーディネーター」「教室アドバイザー」「H26～28年度文化庁事業に携わっていただいた方」「日本語・バイリンガル支援員」など、従来の取り組みの中で関わっていらっしゃる方々とキーパーソンとの役割分担、関連性等。</p> <p>(回答)人権・男女共生課</p> <p>プラザ相談員につきましては、日頃の業務として、相談対応や交流、情報発信等を行っており、キーパーソン・ネットワークにおける核を担うものだと考えています。また、その他の方々につきましては、これまでの取組みや経験、お立場の中で、キーパーソン・ネットワーク構築におけるご助言等をいただくほか、それぞれの経験を活かした役割を担っていただければと考えています。</p> <p>キーパーソンの役割につきましては、今後さらに具体的な役割を明確にしていきたいと考えています。</p>			

施策番号	全体	具体的施策	『取組状況及び今後施策を達成するための取組方針』
------	----	-------	--------------------------

【意見】

多くの施策が展開されていますが、『取組状況及び今後施策を達成するための取組方針』では、「行っている」「提供している」「進めている」「発信している」など、取組状況の記述はあるものの、その結果の具体的内容（目標の達成状況）、取組施策の効果と妥当性評価、今後進めていく上での課題などが、私には見えません。これらの総括的な整理は年次ごとにされているのでしょうか。

これらの情報（施策の内容と実施効果・評価、課題等）が横方向に関係者間で共有され議論されることにより、施策の重要課題や優先事項・手順、他の施策との関連などが明らかとなり、実現に向けた取組内容や体制がステップアップされ、一方向（行政）からの「サービスの提供」でなく、様々な関係者の参加による双方向の「継続する協働作業」につながるように思われます。理想論かもしれませんが、外国人も住みよいまちづくりに向けて、段階－段階を踏んで地道にやっていく必要があるのだらうと思います。

（回答） 人権・男女共生課

「取組み施策の効果、妥当性、評価、課題について、年次ごとの総括的整理と、関係者間における横方向の共有がされているか」とのご指摘をいただきました。

これまでは、計画年度に向けた各施策の進捗状況を毎年ご報告をし、計画最終前年に実施する実態調査結果を踏まえて総括的な評価を行っております。

ご指摘いただきましたとおり、計画達成に向けては、年度ごとにPDCAサイクルを実行していくことが重要です。来年度策定の次期3次プランでは、各施策の具体的な指標を掲げ、年次ごとの評価ができるよう見直しをしていきます。

第2次松本市多文化共生推進プラン施策質問票

●質問・意見

施策番号	3	具体的施策	地区キーパーソンの活用
<p>地域キーパーソン、日本語ボランティアなど、少額でも謝礼のようなものが出るとより活動意欲の増進になると思います。</p> <p>キーパーソンはそもそも相談相手、然るべき機関につなぐ役割、知らない人では務まらないので、日本語教室のスタッフをうまく活用してほしい。</p> <p>(回答) 人権・男女共生課</p> <p>キーパーソンへの謝礼については、段階的に検討していく必要がありますが、まずは活動を明確化させることが第一と考えています。</p> <p>ご指摘のとおり、受けた相談等を適切に繋ぐことは、キーパーソンの重要な役割のひとつだと考えます。普段から外国人住民や行政と繋がりのある日本語教室スタッフのみなさまには、既に多くの方にキーパーソンとしてご登録いただいております。日本語教室から多文化共生プラザに相談者が繋がった事例もございます。今後のキーパーソン研修では、市各課の役割を紹介するなど、キーパーソンスキルの向上に繋がる内容も検討していきます。</p>			

施策番号	8	具体的施策	各教室に必要な日本語ボランティアの募集
<p>日本語教室とはどんなところ+やさしい日本語×外国人の料理教室＝日本語教室の周知</p> <p>このやり方の料理教室で日本語ボランティアの裾野を広げる試みをした時期があります。定着がなかなか難しいのですが、成果はあったと思います。</p> <p>(回答) 中央公民館</p> <p>日本語教室を料理教室と組み合わせることで新たな人材への周知の可能性も広がると思いますので、参考にさせていただきます。</p>			

施策番号	8	具体的施策	喫茶店、レストランと連携した「多文化共生サロン」(観光客も利用可)の検討
<p>現在の進捗状況が知りたい。</p> <p>喫茶店、レストランのほかにゲストハウスとの連携できるのでは？</p> <p>(回答)人権・男女共生課</p> <p>現在、サロンの設置は進んでいません。ゲストハウスが、地域交流の場として機能している例もあるようですが、訪日外国人と日本人住民との交流という側面が強いと思われます。在住外国人と日本人住民との交流拠点という視点で考えていますが、民間との連携については、さらなる研究が必要です。まずは、市施設を活用したサロンの設置について検討していきます。</p>			

施策番号	9	具体的施策	教室アドバイザーの設置
<p>どのような立場になるかなど、詳細が知りたい。</p> <p>松本市だけでも、文化庁地域日本語教育コーディネーターは、4～5人(一人は只今海外)とたくさんいるほうだと思うので、うまく活用してほしい。</p> <p>(回答) 人権・男女共生課</p> <p>教室アドバイザーとは、教室運営・指導方法へのアドバイス、情報提供等を行う人物として想定されます。現状、上記コーディネーター研修修了者のひとりが、多文化共生プラザの相談員であるため、この役割を担っていただいています。</p>			

施策番号	9	具体的施策	松本版教材の検討
<p>なんなんひろば 副教材を使う日本語レベル・生活背景の学習者が来ていない。地図が街ナカ(生活地域と離れている)。文化庁の日本語教育事業で作成した「松本版副教材」は主に初級レベルの受講者さんを対象としているので、別視点、別レベルの副教材もあれば。</p> <p>(回答) 人権・男女共生課</p> <p>現行の「松本版副教材」は、文化庁の日本語教育事業を活用して作成したのですが、ご提案いただきました、新たな教材の作成につきましては、財源確保を含め検討していきたい。</p>			

施策番号	9	具体的施策	情報交換や交流をベースにした日本語学習活動の支援
<p>多文化広場（M ウイング 火曜日 午前）</p> <p>実施場所の提供等は感謝、M ウイングの駐車場の無料化によって、受講者、スタッフへの働きかけがしやすくなるので検討してほしい。</p> <p>地域日本語教室を市の施策としてあげるのであれば、担当者は現場を見に来てほしい。（広報、問合せの対応に感謝。）</p> <p>（回答）人権・男女共生課</p> <p>駐車場に関しましては、パレア松本の他の登録団体様も無料処理はしていません。参加者やスタッフの皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。</p> <p>地域日本語教室の開催状況につきましては、機会を見ながらお邪魔をさせていただきます。</p>			

施策番号	9	具体的施策	市内日本語教室間の交流
<p>日本語教室は市内にいくつもあるが、主催者の違いなどにより待遇が異なる。（有償・無償、駐車場の便宜等）</p> <p>教室を新しくつくる時の支援を一律に決めれば、教室を新しく立ち上げやすい。（新しい教室は考えていないとのことですが）待遇、窓口などを一本化してほしい。</p> <p>（回答）中央公民館</p> <p>立ち上げたときの経緯が異なる教室に対し、同じ支援を行うことは難しいのが現状ですが、新しく立ち上がる教室に対し、より良い運営方法について、一緒に考えてまいりたい。</p>			

施策番号	9	具体的施策	日本語ボランティア養成講座の開催
<p>日本語ボランティアの養成を日本語教師がするのはお互いに温度差があって難しい。</p> <p>（回答）中央公民館</p> <p>今後、日本語ボランティア養成講座を実施する際は、どんな内容にすればより良い講座になるかを現在関わっていただいているスタッフの皆さんと話し合っ、進めていきたいと思ます。</p>			

施策番号	10	具体的施策	中項目（災害への対応・防災への意識啓発・訓練への参加）
<p>県外の日本語ボランティアさんと災害時のために日頃から連携連絡を密にしておくことを松本市から発信するのはどうか。</p> <p>（回答）人権・男女共生課</p> <p>ご提案のとおり、災害発生時の応援体制が円滑に行えるよう、日頃から松本市外の団体との連携は大事と考えます。団体間の交流はお願いしたいと思いますが、社会福祉協議会とも相談しながらボランティア連携について研究します。</p>			